

2026年3月期 第3四半期 決算説明資料

2026年3月期第3四半期
決算説明動画は
当社YouTubeチャンネルにて掲載しております。

動画URL:https://youtu.be/XvKE_jPxBnk



1. 2026年3月期 第3四半期 決算報告

2. 2026年3月期 通期見通し

3. トピックス



日本プラスト株式会社

1. 2026年3月期 第3四半期 決算報告

2. 2026年3月期 通期見通し

3. トピックス



日本プラスト株式会社

(1) 概要



(単位：百万円)

	2025年3月期 第3四半期		2026年3月期 第3四半期		対前年同期比	
					増減	伸率
売上高	90,073	100.0%	84,581	100.0%	△ 5,492	△ 6.1 %
売上原価	81,297	90.3%	76,373	90.3%	△ 4,923	△ 6.1 %
売上総利益	8,776	9.7%	8,207	9.7%	△ 569	△ 6.5 %
販売費及び一般管理費	6,637	7.4%	6,637	7.8%	△ 0	△ 0.0 %
営業利益	2,139	2.4%	1,570	1.9%	△ 568	△ 26.6 %
経常利益	1,674	1.9%	1,366	1.6%	△ 307	△ 18.4 %
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1,280	1.4%	1,542	1.8%	262	20.5 %
1株当たり四半期純利益	67.61円		81.35円		—	—
1株当たり配当金	—		—		—	—

US \$ 換算レート	注1)	151.62円	注2)	147.78円	△ 3.84円	—
-------------	-----	---------	-----	---------	---------	---

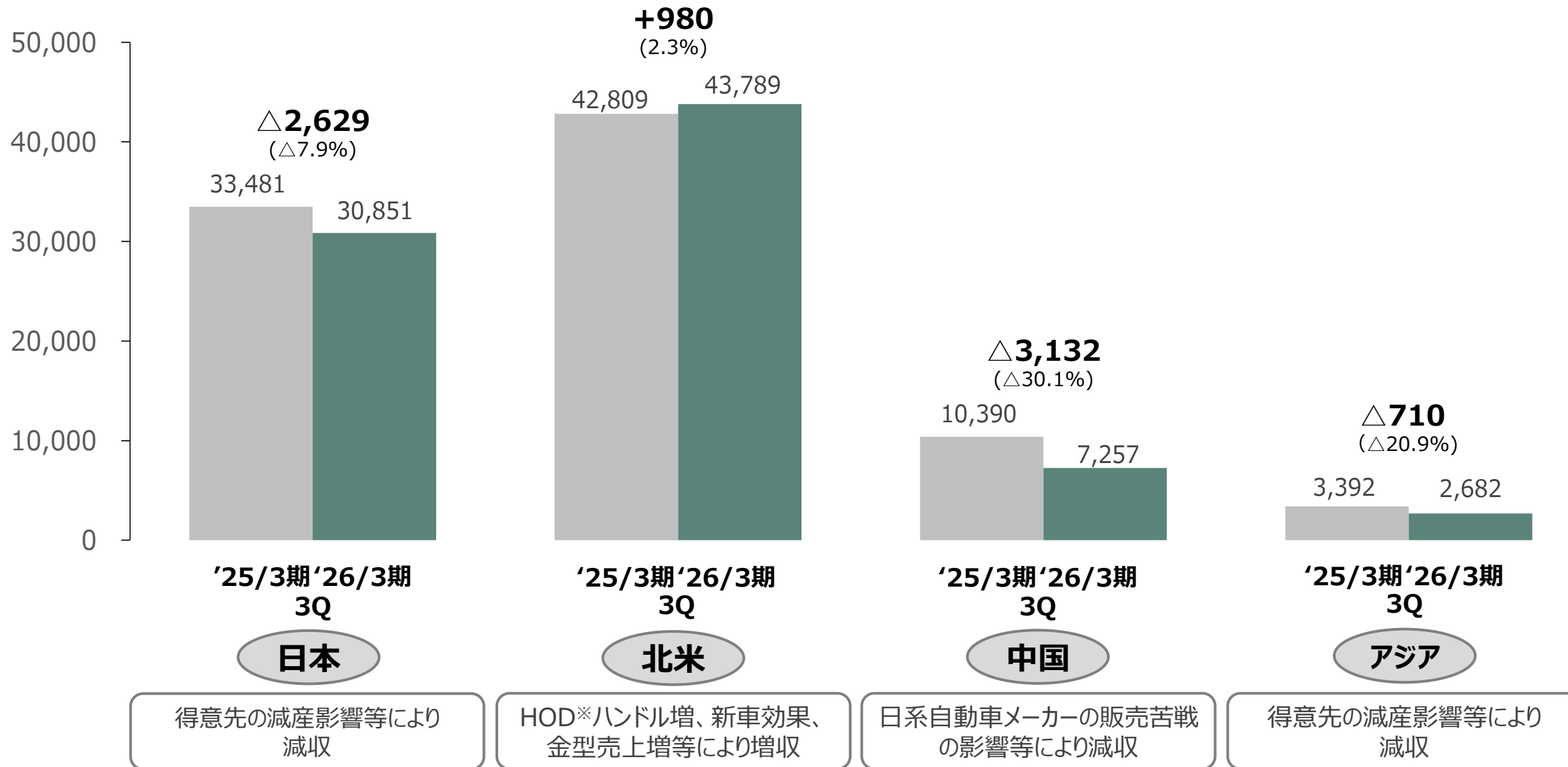
注1) 24年 1～9月平均レート

注2) 25年 1～9月平均レート

(2) セグメント情報 <地域別売上>



(単位：百万円)

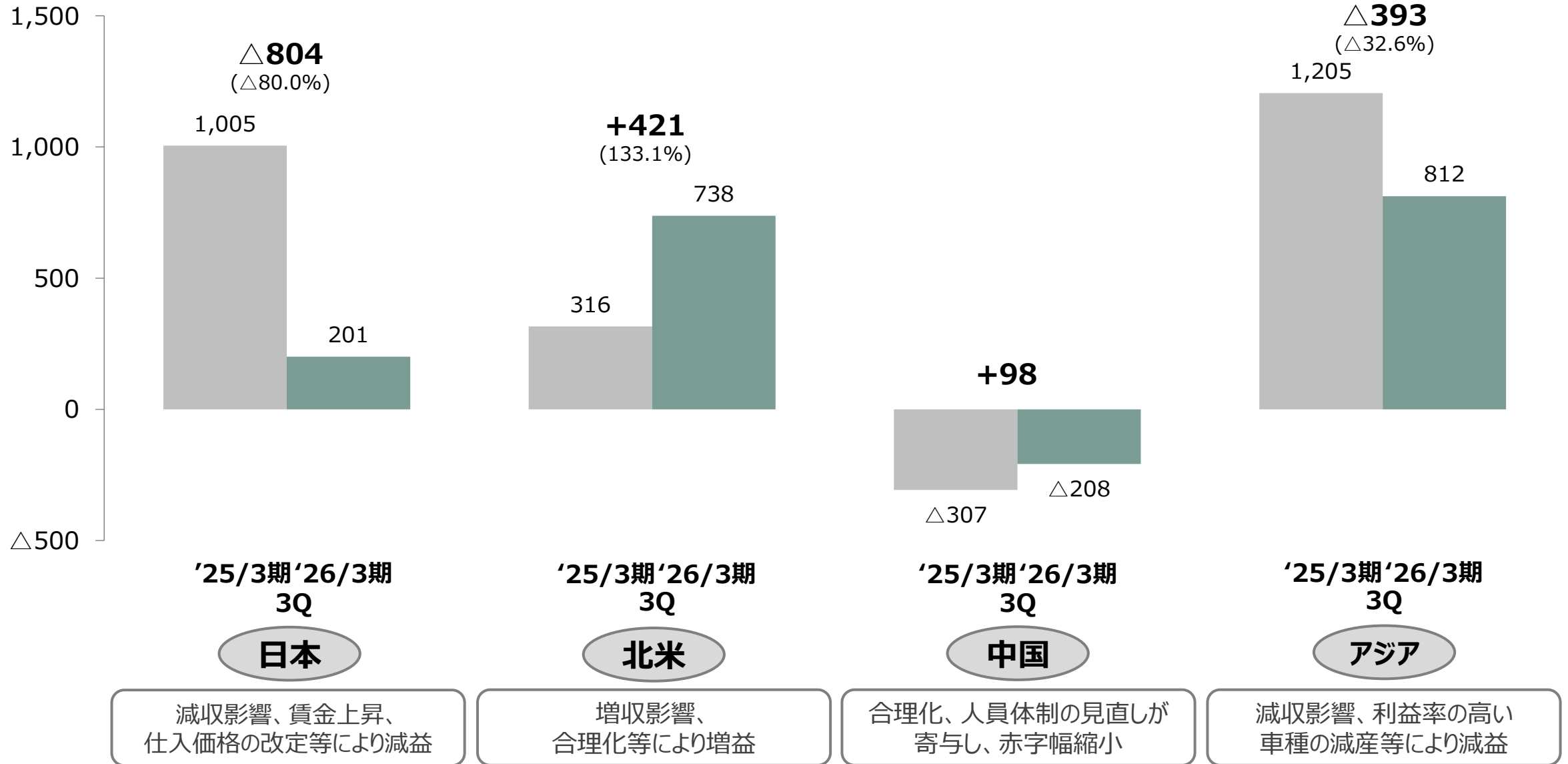


※HOD（ハンズ・オン・ディテクション）とは運転者がハンドルを把持しているか否かを検知する機能。それにより自動運転の切替が可能となる。

(2) セグメント情報 <地域別営業利益>



(単位：百万円)

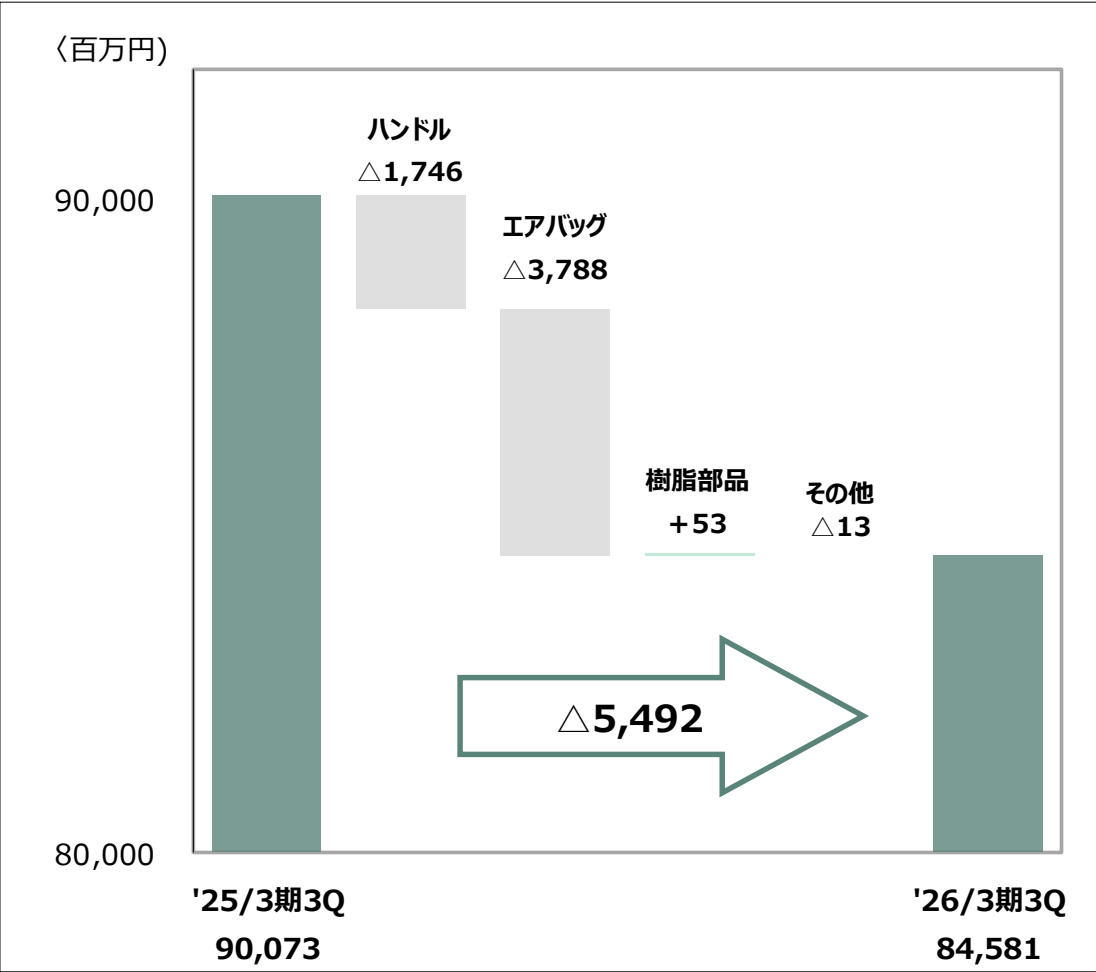


(3) 製品別売上



(単位：百万円)

	'25／3期 3Q	'26／3期 3Q	対前年同期比	
			増減	伸率
ハ ン ド ル	23,972 (26.6 %)	22,226 (26.3 %)	△1,746	△7.3 %
エ ア バ ッ グ	23,154 (25.7 %)	19,366 (22.9 %)	△3,788	△16.4 %
樹 脂 部 品	42,921 (47.7 %)	42,974 (50.8 %)	53	0.1 %
そ の 他	26 (0.0 %)	13 (0.0 %)	△13	△50.0 %
連 結 売 上 高	90,073	84,581	△5,492	△ 6.1 %



ハンドル

エアバッグ

樹脂部品

減産影響等を受けるも、HODハンドル増加や新車効果が減収幅を抑制

減産影響等により減収

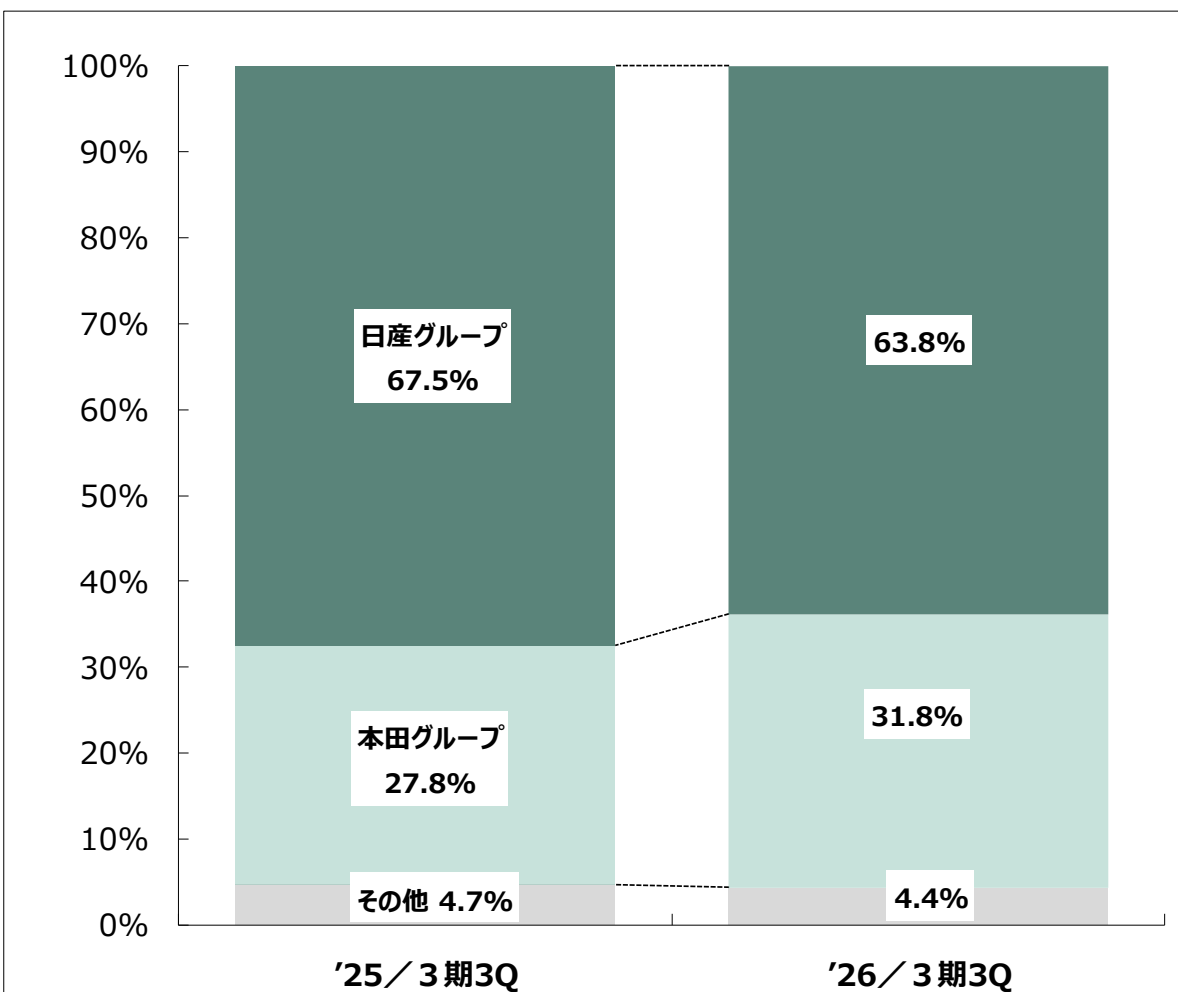
減産、為替換算による減収影響を新車効果、金型売上の増加で打ち返し、前年同期並み

(4) 得意先別売上



(単位：百万円)

	'25／3期 3Q	'26／3期 3Q	対前年同期比	
			増減	伸率
日産グループ	60,777 (67.5 %)	54,002 (63.8 %)	△ 6,775	△ 11.1 %
本田グループ	25,040 (27.8 %)	26,885 (31.8 %)	1,845	7.4 %
その他	4,255 (4.7 %)	3,692 (4.4 %)	△ 563	△ 13.2 %
連結売上高	90,073	84,581	△ 5,492	△ 6.1 %

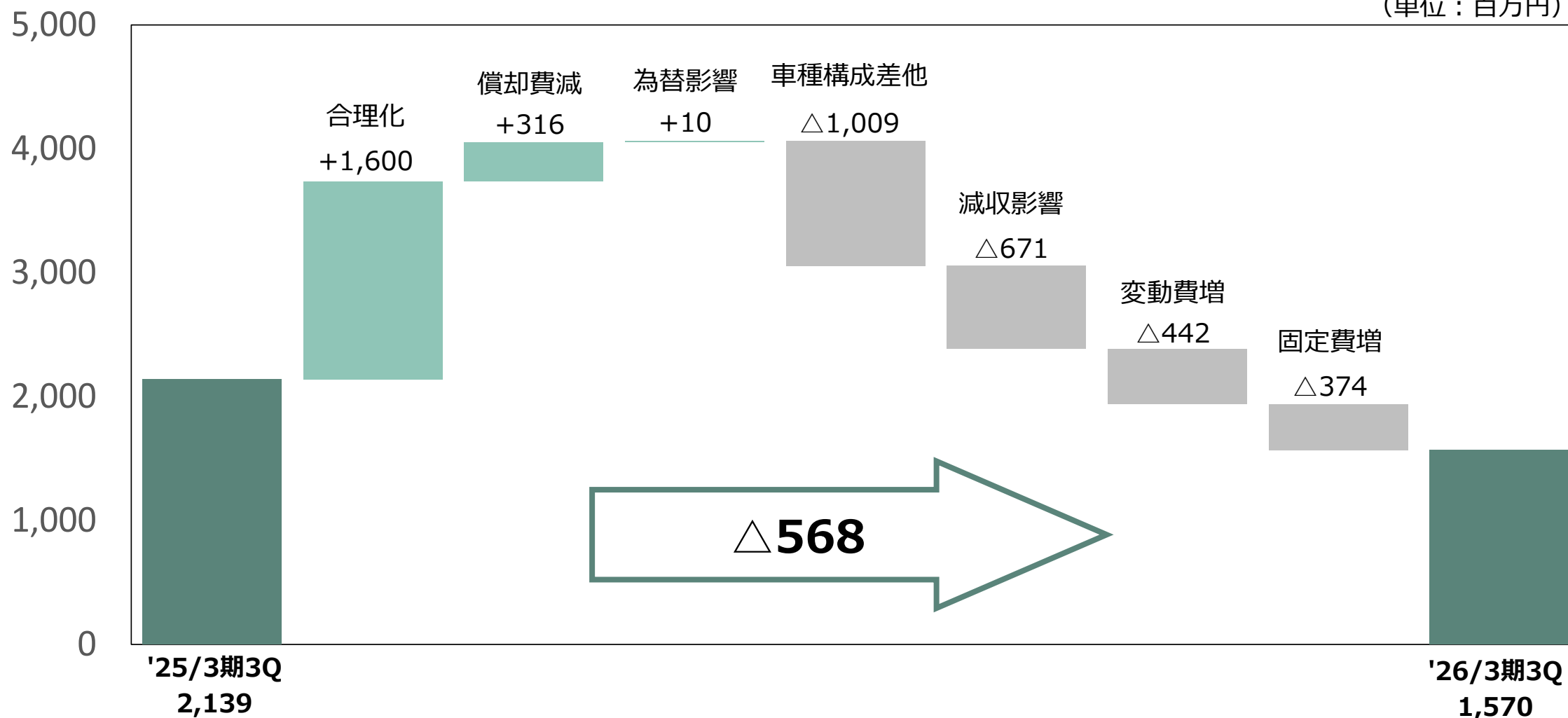


日産 HODハンドル増加、新車効果はあるものの、減産影響等により減収
 本田 新車効果、金型売上の増加により増収
 その他 減産影響等により減収

(5) 営業利益増減説明



(単位：百万円)



※償却費は為替影響(+38)を除く金額となっています。

車種構成差、減収影響、変動費・固定費増加等のマイナス要因を、合理化等で打ち返すことができず減益

(6) B/S主要増減



(単位：百万円)

	'25／3末	'25／12末	前年度末比	主要増減要因
流動資産	48,015	46,479	△1,535	・現金及び預金△ 2,847 ・原材料及び貯蔵品△ 1,110 ・受取手形及び売掛金+ 2,517
固定資産	35,692	34,209	△1,483	・有形固定資産△ 2,013
資産合計	83,707	80,688	△3,018	

	'25／3末	'25／12末	前年度末比	主要増減要因
流動負債	39,237	34,925	△4,311	・製品保証引当金△ 1,773 ・支払手形及び買掛金△ 946 ・賞与引当金△ 877
固定負債	9,932	10,759	826	・長期借入金+ 849
純資産	34,538	35,004	466	・利益剰余金+ 1,203 ・その他有価証券評価差額金+ 478
自己資本比率	41.3%	43.4%	2.1%	・為替換算調整勘定△ 1,175
負債純資産合計	83,707	80,688	△3,018	

1. 2026年3月期 第3四半期 決算報告

2. 2026年3月期 通期見通し

3. トピックス



日本プラスト株式会社

(1) 概要



(単位：百万円)

	2025年3月期		2026年3月期		増減	伸率
売上高	120,591	100.0%	113,000	100.0%	△ 7,591	△ 6.3 %
営業利益	2,772	2.3%	2,400	2.1%	△372	△ 13.4 %
経常利益	2,006	1.7%	1,600	1.4%	△406	△ 20.3 %
親会社株主に帰属する 当期純利益	56	0.0%	1,300	1.2%	1,243	—
1株当たり当期純利益	2.97円		68.66円		—	—
1株当たり配当金	15.00円		20.00円		—	—

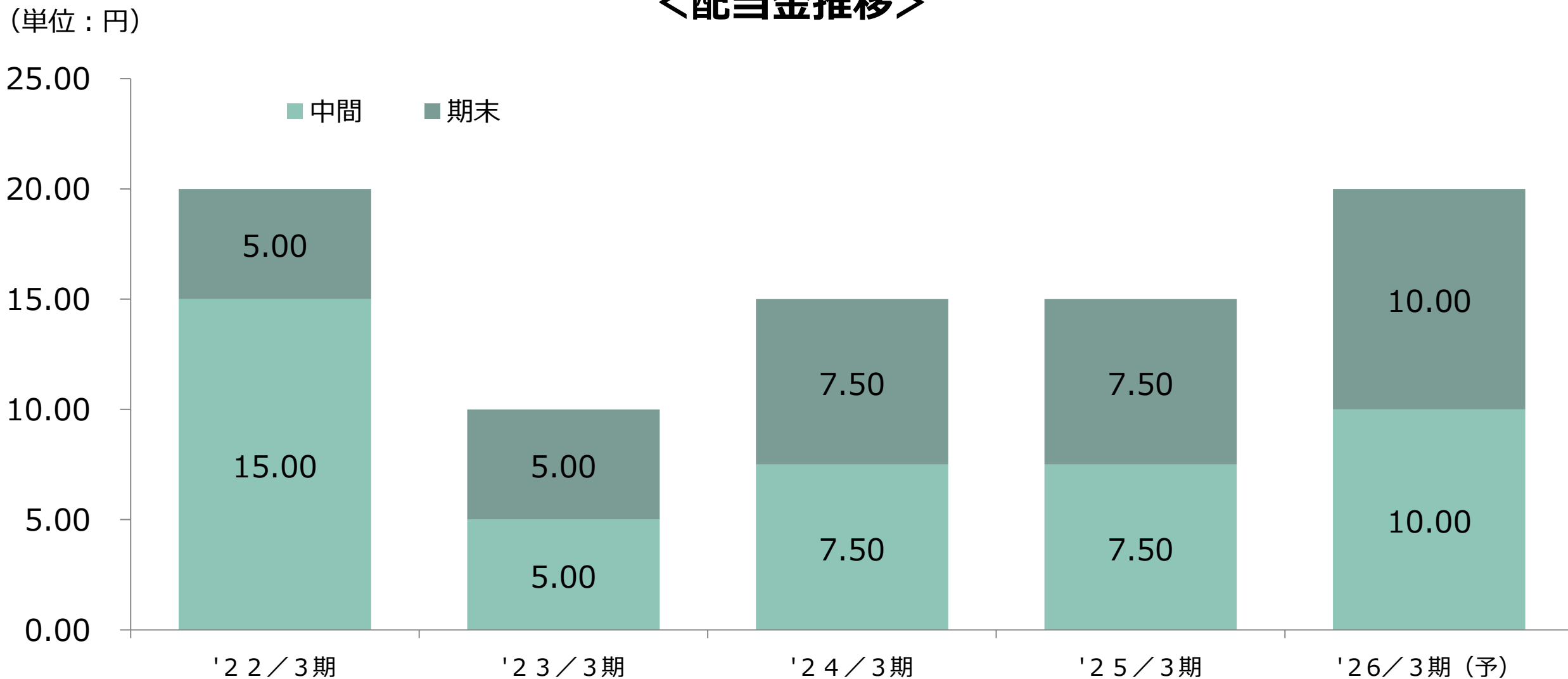
設備投資額	4,142	4,400	258	6.2 %
減価償却費	4,863	4,503	△ 360	△ 7.4 %

US \$ 換算レート	152.27円	145.00円	△ 7.27	—
-------------	---------	---------	--------	---

(2) 配当金



<配当金推移>



質問	回答
①米国の関税措置の影響について 足元の状況を教えてほしい	米国による関税措置については、2025年3月より継続して発生しており、足元の利益を圧迫しています。価格転嫁の状況については、一部は合意に至っているものの、全体としては依然として交渉の最中にあります。転嫁範囲の精査等により合意に時間を要していますが、引き続き早期決着に向けた交渉を継続してまいります。
②半導体供給の混乱について 足元の状況を教えてほしい	10月後半から11月にかけて半導体供給の混乱等に起因する、得意先の生産停止や調整が発生し、当社の北米拠点も相応の影響を受けましたが、足元では得意先の操業が平準化に向かっており、当社の生産も回復してきております。今後も、得意先の生産変動を注視し、生産ラインの柔軟な稼働管理を通じて、効率的な生産体制の維持に努めてまいります。
③11月に実施した「自己株式立会外買付取引（ToSTNeT-3）による自己株式の取得」について	2025年11月13日に実施した自己株式の取得は、複数の株主様より売却意向の連絡をいただいたことを受け、市場における需給への短期的な影響を緩和する目的で、立会外買付取引（ToSTNeT-3）により実施いたしました。本施策は、経営環境の変化に対応した機動的な資本政策の遂行を可能にすると考えております。

質問	回答
④当社サーバーへの不正アクセスについて	2025年8月に当社開発センターのサーバーが不正アクセスを受けた件につきましては、調査の結果、情報窃取の痕跡は確認されず、情報漏えいの可能性は低いものと判断しております。本事案を受け、これまでに社内外部からのリモート接続の制限、パスワード認証の強化、ネットワーク機器の更新管理徹底、さらには監視やバックアップ管理体制の強化を実施いたしました。今後は、VPN接続への多要素認証や高度なウイルス検知システム（EDR）導入の検討を順次進め、さらなるセキュリティレベルの向上と再発防止に全社を挙げて取り組んでまいります。みなさまには、多大なるご心配とご迷惑をおかけしておりますことを、重ねて深くお詫び申し上げます。
⑤日産自動車の国内生産体制の見直しについて（追浜工場閉鎖の報道がでているが、どのような影響があるのか）	当社は、主要なお客様の生産体制の変更に合わせ、機動的な生産拠点の最適化を進めております。具体的には、お客様の生産拠点の集約・移管に対応し、将来的な九州工場での生産負荷増大に備え、十分な生産スペースを確保するため、同工場でのハンドル部品生産の一部を富士工場へ移管する検討を進めております。これにより、お客様の生産体制に即応するとともに、これまで分散していた工程を富士工場へ集約し、一貫生産による効率化をはかってまいります。

1. 2026年3月期 第3四半期 決算報告

2. 2026年3月期 通期見通し

3. トピックス

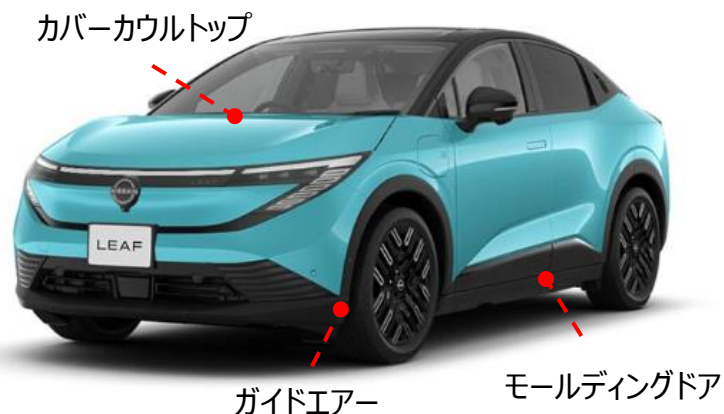


日本プラスト株式会社

LEAF 2025年北米 2026年日本 納入開始

32部品採用 内、23部品新規採用

【エクステリア】



【インテリア】



【当社が受注している部品】

安全部品(4部品)

- ・ハンドル
- ・運転席用エアバッグ
- ・リアサイドエアバッグ(RH/LH)

インテリア/エクステリア部品(28部品)

- ・カバーカウルトップ
- ・ガイドエアー

新規採用

- ・オーバーフェンダーフロント(RH/LH)
- ・オーバーフェンダーリア(RH/LH)
- ・モールディングフロントドア(RH/LH)
- ・モールディングリアドア(RH/LH)
- ・スクリーンシーリングフロントドア(RH/LH)
- ・スクリーンシーリングリアドア(RH/LH)
- ・グリルラジコアアッパー
- ・ブラケットリアバンパー
- ・カバーサービスホール
- ・シールカウルトップ (RH/LH)

ルークス 2025年 日本国内市場納入開始

安全部品、7部品採用

【エクステリア】



【当社が受注している部品】

安全部品(7部品)

- ・ハンドル
- ・運転席用エアバッグ
- ・助手席用エアバッグ
- ・サイドエアバッグ(RH/LH)
- ・カーテンエアバッグ(RH/LH)

【インテリア】



ご視聴ありがとうございました。

◆決算説明に関するお問い合わせは、下記までご連絡ください。

お問い合わせフォーム：<https://forms.gle/QV32purFt4xU7MnE7>
(受付期限：2026年3月27日)



◆今後の運営の参考にさせていただきますので、よろしければアンケートにご協力ください。

※アンケートにご回答いただいた方、**先着50名に粗品をプレゼント**いたします。

アンケート入力画面：<https://forms.gle/7x5pz39aS1VL2QyM6>
(回答期限：2026年3月27日)



本資料に記載の将来予測及び業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき、当社が判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。実際の業績は、様々な要因の変化により、記載されている将来見通しとは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おき下さい。